

【卓球】

全日本卓球選手権大会(カデットの部)

11月2日から4日まで、カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)で全日本卓球選手権大会(13歳以下の部、14歳以下の部)が開催され、小塩さんが優勝を果たしました。この大会は全国の予選を勝ち抜いた選手と日本卓球協会推薦選手を含め167名による5ゲームマッチのトーナメント方式で行われました。

この大会はジュニア選手の将来を占う意味で非常に重要な大会であり、現在日本代表として活躍している選手の殆どが歴代優勝者の中に名前を連ねています。

小塩さんはトップシードで優勝候補の筆頭に挙げられていました。決勝では、スピードある伸び盛りの選手との対戦となりましたが、第1ゲームの出だしで失点が連続した以外は、常にリードした展開となり、結果的には圧勝となりました。

優勝して当然と思われている中で、しっかり優勝を果たすことができた要因として、どんな場面でも自分をしっかり見つめ、冷静に試合を進めていったことがあげられます。また、試合で対戦が予想される選手の対策をしっかり行っていたことも勝因と考えられます。この経験を活かし、国内はもとより海外でも勝つことのできる選手に成長することを期待しています。



【優勝した小塩さん(左)と劉 楽コーチ(右)】

【レスリング】

全国中学校選抜選手権大会

平成30年度東京都知事杯第9回全国中学選抜レスリング選手権大会が11月24・25日の2日間、駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で全国から179クラブから583選手が参加し開催されました。

高橋君は、昨年より1クラス上げた男子57kg級に出場しました。このクラスには71名の選手がエントリーし、今大会で一番人数の多い激戦区となりました。しかし、圧倒的な実力差をみせて、決

勝までの5試合全てを1ラウンドテクニカルフォールで優勝を果たしました。高橋君は、一昨年の42kg級、昨年の53kg級に続き、3年連続優勝を達成しました。

坂本さんは、6月の全国中学校選手権大会から階級を一つ上げ、女子46kg級に出場しました。安定した力でフォールやテクニカルフォールで勝ちあがり、決勝でも3分15秒10対0のテクニカルフォールで勝利し、昨年の40kg級に続き、2年連続優勝を果たしました。

男子41kgに出場したガレダギ君は、1年生ながら2名のチャンピオンを撃破。準決勝で、体力に勝る2年生に力負けし敗退しましたが、3位決定戦では2年生のシード選手に対し果敢に攻め続け、2対1の僅差で勝利し、3位となりました。

菅野君は男子52kg級に出場し、1回戦は12対4で勝利しましたが、2回戦で苦しくも優勝した選手と対戦し、敗退しました。



【3年連続優勝を遂げた高橋くん】

【アーチェリー】

ナショナルチーム選考会

2019年度ナショナルチーム選考会が11月12日から15日までヤマハリゾート彩の郷(静岡県掛川市)で開催されました。この大会はシニア、U20、U17の3つのカテゴリーのナショナルチームメンバーを決定する大会で、それぞれ男女各32名、男女各21名、男女各12名が出場しました。

園田さんは今年に入って大きく成長し、今大会でも初日7位という好位置につけ、2日目、3日目も安定したフォームで得点を伸ばし、最終的には8位でシニアナショナルチーム入りを果たしました。高校1年生でのナショナルチーム入りは、日本アーチェリー界では最年少記録です。

園田さんの感想

「私はナショナルチーム選考会に参加し、8位で通過することが



【最年少でナショナルチーム入りを果たした園田さん】

できました。3日間という長丁場で緊張する中、苦しい場面、辛い場面もありましたが練習通りの射ち方ができたのは、コーチをはじめ周りの人たちの支えのおかげです。私はスタート地点に立てただけであり、これからが本当の勝負だと思っています。東京オリンピック、パリオリンピックを目指し、感謝の気持ちを持ち、期待に応えられるように、もっと努力をしていこうと思います。」

渡邊さんは1日目大きく出遅れたことが響き、目標としていたナショナルチーム入りはなりませんでしたが、アンダー20では5位となり、アンダー20ナショナルチーム入りを果たしました。

伊藤君は2日目を終わって19位まで後退しましたが、最終日は粘り強い試技で得点を伸ばすことができ、中学生としてただ一人ナショナルチーム入りを果たしました。

野田君は、今大会の前日に行われた「ゴールデンエイジカップ」では優勝を逃しましたが、その悔しさをばねに目標としていたアンダー17ナショナルチーム入りを果たしました。トップレベルの選手に交じっての試技であり、中学1年生の野田にとっては貴重な経験となりました。

今大会は2020年東京オリンピック日本代表選考のスタートとなる大会として位置づけられており、会場は非常に緊張感のある雰囲気が漂っていました。その中で、JOCエリートアカデミーから出場した4名全員が、ナショナルチーム入りを果たしたことは、大きな成果でした。

【卓球】

ワールドツアー

国際卓球連盟(ITTF)主催のワールドツアーが11月も世界各国で開催され、アカデミー生も頑張りました。主な成績は次のとおりです。

なお、今回出場した3大会の中で、オーストリアオープン「プラチナ」の名前がついているとおり、獲得可能なワールドランキングポイントが高く最もハイレベルの大会です。

◆ワールドツアー・スウェーデンオープン

- ・開催地 スtockホルム
- ・期間 10月29日から11月4日
- ・出場者 宇田幸矢、張本智和、長崎美柚、
- ・成績 男子ダブルス 張本/木造(EA外)組:ベスト8
男子U21シングルス 宇田:ベスト4

◆ワールドツアー・プラチナ・オーストリアオープン

- ・開催地 リンツ
- ・期間 11月6日から11日
- ・出場者 宇田幸矢、張本智和、長崎美柚、木原美悠
- ・成績 男子シングルス 張本:ベスト8
男子ダブルス 張本/木造(EA外)組:ベスト8

◆ジュニアサーキット・ハンガリー大会

- ・開催地 ソンバトヘイ
- ・期間 11月7日から11日
- ・出場者 浅津碧利、柏竹琉、小塩遥菜
- ・成績
ジュニア男子シングルス 柏:ベスト4、浅津:ベスト8
ジュニア女子シングルス 小塩:ベスト8
ジュニア男子ダブルス 浅津/柏 組:ベスト8
カデット女子シングルス 小塩:準優勝

【教育プログラム】

英会話教室

英会話教室で今年度2回目となるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーションは、「海外での試合のインタビューを疑似体験する」というテーマで、これから目標としている大会や好きな選手、尊敬する選手など5つの質問をペアで行うという形式で進められました。

原稿を見るシーンは見られましたが、スポーツに関する質問内容を多く用意しており、お互いに相手のスポーツのことを英語で理解することが出来たと思います。

また、時間としては3分から5分でしたが、大きな声でしっかり発音できていました。特に中学生は高校生が大きな声で発表している姿を真剣に見ていたのが印象的でした。

今回のプレゼンテーションは、2月に実施する予定です。最終回となりますので、「2020年に向けての決意」というテーマで、個人で自分の考えなどを発表する予定です。



【プレゼンテーション中の坪君(左)とがれが君(右)】

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業

〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>